

大会名：第24回全国健康福祉祭くまもと大会ねんりんピック2011熊本、大阪予選会

準決勝

会場：箕面市 大阪府立箕面高等学校

試合日：平成23年 5月 15日 試合No. 9

試合戦評 **投手戦 エフワズ1点差で競り勝つ !**

エフワズは、初回八木の左中間二塁打で先制。2回には岡田の中堅への二塁打で着実に加点。4回同点とされたが6回八木の右前安打で再びリードし、原の適時打でリードを広げこの1点が勝利に結びついた。

一方、冠小PTAクラブは4回、四球の走者を高堂、坂本の連打で2点を挙げ同点とするも、2点のリードされた6回、加納の適時2塁打で1点を挙げ追い上げたが、エフワン梶田投手に反撃を断たれた。

記載者 池田ふみ

準決勝

試合No. 10

試合戦評 **豊中シルバースターズの打線爆発で決勝へ !**

豊中シルバースターズは初回、戸神の2点本塁打と森田の本塁打で3点を先制、2回と4回に相手の守備の乱れからも加点し、5回には長短5安打で勝利を確定。

一方、トロイヤーズは3回、相手守備の乱れから2点を返すも、豊中の継投の前に反撃出来なかった。

記載者 別宮猛史

決勝

試合No. 11

試合戦評 **豊中シルバースターズ 先制パンチで試合を決め 優勝 !**

豊中シルバースターズは、先頭打者渡辺が初球ホームランを放ち、その後も準決勝の勢いを持続し初回到4点、2回も森山の三塁打などで3点を取り試合を有位にした。

その後も丸山の本塁打、渡辺の2本目となる本塁打など先発全員安打の18安打18得点を挙げ戸神投手も3安打に押さえ圧倒の優勝。

一方、初出場が決勝へ進んだエフワズは今までの持ち味を出せず、敗れた。

記載者 山口秀蔵